

新型コロナウイルス感染症 PCR検査の現状報告

先月の8月12日から当院でも新型コロナウイルスの唾液検査を中部地区医師会へ検査を委託して対応しています。

検査依頼があると、PCR専用駐車場へ検査技師が向かい患者へ唾液検査の説明と採取した検体を受け取り、医師会の担当者が回収しています。

唾液検査は1日に平均10件。8月は全体で122件中、陽性は10名。陽性率は約8%でした。

PCRの抗原検査も8月から簡易試薬で、担当医師が発熱外来室で対応していますが、検査設備が不十分の為、検査環境が厳しい状況です。



導入予定の新検査機器



当院でも会議等にて、安全キャビネットとPCR検査遺伝子自動装置の購入を検討しています。どの機種もPCR検査時間は1件につき1時間程度かかり、発注後、来年までかかる状況でしたが、新しいPCR測定装置が10月から発売され、1

件あたり検査結果が20〜30分と短時間で結果が出るため、迅速な対応が可能となります。

しばらくは、中部地区医師会で

唾液検査を継続し、検査室も年内までに検査機器類の準備と新型コロナウイルス、インフルエンザなど対応でき

るよう院内検査の環境を整えて取り組みます。

(検査室)

松田弘二

感染症対策のご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症に備えて、できることから始めましょう。

脳ドック 始めました

今年度より脳ドックを開始しました。

この検査は、頭部MRIや頸動脈エコー・血液検査などを行い脳疾患の有無を調べる検査になります。頭部MRIでは、脳梗塞や未破裂動脈瘤湯などを見つかることができません。頸動脈エコーでは、血のかたまり血栓などによる頸動脈の狭窄を

見つけられます。

頭痛や手のしびれなどの症状がなくても病気が隠れている場合があります。症状が出てからでは遅いのです。ぜひ脳ドックを受けてみてください。MRI検査は、不快な音も軽減されヘッドフォンで音楽を聴きながら検査を受けることができます。



詳しくは、健診室へお問い合わせください。

(放射線室) 玉城真規

植樹



2019年12月に新病院に移転しました。その記念に沖繩医療生協名護支部の長山豊守非常勤理事より、病院駐車場にクワディーサーの木1本と、くるみの木3本を植樹していただきました。クワディーサーは北側駐車場の植樹し、木陰が作れるようにしています。クルミの木は駐車場の北西側の斜面に植樹しました。

大事に育てていきたいと思っております。ありがとうございます。感謝です。

(事務長) 嘉数浩明



クワディーサーの木



くるみの木

コロナ渦でも笑顔を



中協4階病棟では、月に1回入院患者様のリハビリや気分転換を兼ねてクッキングを実施しています。8月は夏にちなんで「かき氷」を作ってみました。(簡単ですが・・・笑)



また、今回は作って食べるだけではなく、お祭りの縁日をイメージし、射的や輪投げといったゲームも用意しました。

その中でも射的は好評で、銃を手にとると患者様の覚醒レベルがグン!と上がりギラギラとした目でのを狙い、引き金を握りしめ、射止めても外しても大歓声が沸き上がりました。

メインディッシュのかき氷は4種類の味を準備していましたが、黒蜜味が一番の人気で、どこか懐かしい味に「もつと食べたい」「毎日やりなさい」「この病院でよかったさ」など

世間はコロナ渦にあり、患者様

も不安を抱いていますが、刺激の少ない入院生活において、これからも笑いやユーモアを届けられたらと思います。

(リハビリ室 桃原喜史)



子宮がん検診再開のお知らせ

今年5月から婦人科医師不在のため休診しておりました婦人科外来が、沖縄協同病院婦人科のご協力により、9月から診療再開することになりました。



それに伴い、子宮がん検診も9月から健診を再開致します。

中部協同病院で婦人科を担当してくださる医師は2名とも女性医師なので、患者・受診の皆様にとって、安心して受診できると好評を得ていました。

休診のお知らせの際には残念がる方が多かったです。再開することでまた患者・受診者の皆様に喜んで頂けると思います。

子宮がんは定期的に受診していただき、早期発見・治療することで完治できる病気です。がん健診の通知が届いた際には、ぜひ検診を受けられることをお勧めします。

(健診室 松尾綾子)

婦人科外来 診療日時	
診療日時	毎月第2・4火曜日
受付時間	午前 9:30~12:00 午後 13:30~15:30

沖縄メディコ社より 寄贈して頂きました!!



9月9日に(株)沖縄メディコ社より、フェイスシールド5ケースの寄贈を頂きました。同社は、新型コロナウイルス感染症の治療や感染拡大防止の最前線となって取り組んでいる医療機関を応援する為に取り組んでおり、この度、当院への寄贈となりました。同社より頂いたフェイスシールドは日々の医療活動に使用させていただきます。

今後も、各分野と一日も早い事態の終息に向けた協働を進めたいと思います。

(事務次長 大城智志)